

臼杵市 施策評価シート (令和元年度)	評価 担当者	課名	氏名	内線
		子ども子育て課	尾本 浩	2500

コード	I -2-4	施策名	安心して産み育てるための支援
施策の方針	子育てしやすい環境を整える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
施策の目的	少子化が進む中、安心して結婚・妊娠・出産・育児ができる支援体制の強化を図ります。		
施策の内容	・婚活支援や不妊治療費の助成など子どもを生むまでの支援を行います。 ・妊婦や乳幼児期の健康診査の充実、心身の発達に応じた食事や運動の生活指導、歯の健康づくり等を推進します。 ・幼保小中高の学校教育や家庭教育の中で健康教室や性教育を実施します。 ・子ども医療費や保育・教育費の経済的支援と、子育て世代が働きやすい職場環境の構築について企業理解を図ります。 ・学校教育との連携し、朝食欠食者数の減少を図ります。		

＜指標＞

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
				単位	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	婚活支援事業で結婚した人の累計	婚活支援事業で結婚したカップル数(累計)	目標	組		5	5	5	10	20
			実績		1	0	2	2	4	7
			達成率	%	－		40.0%	40.0%	40.0%	35.0%
	この地域で子育てしたいと思う親の割合	4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診の問診による、地域で子育てしたいと思う親の割合	目標	%		70.0	90.0	95.0	95.0	96.0
			実績		－	90.0	94.0	95.8	96.0	96.7
			達成率	%	－	128.6%	104.4%	100.8%	101.1%	100.7%
	妊娠期からの切れ目のない支援体制の推進	子育て支援コーディネーターの支援対象者の割合	目標	%		20	20	20	20	30.0
			実績		20	20	15	36	41	50.7
			達成率	%	－	100.0%	133.3%	55.6%	48.8%	59.2%
	3歳6か月児健診の受診率	3歳6か月児健診受診者数／対象者数	目標	%		94.0	94.0	94.0	94.0	94.0
			実績		87.5	89.5	91.8	90.8	96.2	96.3
			達成率	%	－	95.2%	97.7%	96.6%	102.3%	102.4%
	学童の朝食欠食率の減少	学童の朝食欠食率	目標	%		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
			実績		7.2	9.4	7.5	4.6	4.8	2.2
			達成率	%	－	53.2%	66.7%	108.7%	104.2%	227.3%
○	不妊治療の補助件数	費用助成を行った件数(H30年度～は不妊検査補助件数も含む)	目標	件		42	42	42	42	42.0
			実績		11	15	42	16	27	48.0
			達成率	%	－	35.7%	100.0%	38.1%	64.3%	114.3%
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の分析		ちあぽーとを中心として、妊娠期から切れ目のない子育て支援が充実し、相談支援体制整備にも努めており、気軽に悩みや不安などの相談ができるようになり、本市で子育てしたいと思う親の割合が引き続き高くなっています。また学童の朝食欠食率は啓発や指導により減少傾向です。乳幼児の集団健診率は、9割がちあぽーとでの集団検診、10%が小児科での乳児健診となっており、未受診者はほとんどいません。また、婚活事業は今年度工夫を凝らした仕掛けを充実させたことで、カップル成立に結びつくようになりました。								

＜市民意識調査結果＞

市民意識調査 結果 (R1調査)	領域名	必要度	満足度	満足度
	維持領域	2.41	1.57	
市民意識調査 結果分析	・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。			
	令和元年度実施のアンケート結果は、「必要度」「満足度」ともに平成30年度より高くなり、強化領域から維持領域となりました。妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実に着実に取り組む中で、事業の拡充に加え、妊産婦医療費助成や出生祝い品贈呈の新規事業を始めたことなどが考えられます。ただし、今後も継続的で、連続性のある安心して生み育てることができる支援や市民ニーズに対応した総合的な取組みが必要であると考えます。			

＜次年度以降の課題＞

令和2年度以降の課題	昨年に引き続き、安心して出産を迎え、子どもの健やかな成長を願い、様々な支援体制を整えています。出生数減少に歯止めがかからない状況です。若い女性の市外転出や晩婚化、また子育てに係る経済的負担が課題となっています。こうした中、令和1年度から出生祝い品として1人につき1万円の商品券贈呈事業や安心安全な出産のため妊産婦の医療にかかる自己負担分の助成事業を始め、対象者の方には喜ばれています。さらに令和2年度からは、出生1人につきオムツ1万円分の購入補助や産後の支援の充実のために産後ケア事業を計画しています。こうした取組みを通じて、妊娠期からの切れ目のない支援の充実とともに、少子化対策として出生数の減少対策に対応していく必要があります。
------------	--

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共力 カ年	他の関連施策コード
				H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み			
1 利用者支援事業	子育て支援コーディネーターを配置し、妊娠期からの切れ目のない支援をコーディネートします。	子ども子育て課	○	5,408	6,038	6,264	－		I -2-5
2 子ども医療費助成事業	子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見と治療を促進することを目的としています。	子ども子育て課	○	107,636	107,277	110,825	重点継続	○	I -2-5
3 乳幼児等健康診査	4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月健診等乳幼児の健診実施や、妊婦健診の費用助成	子ども子育て課		22,429	22,963	24,695	重点継続		I -2-5
4 乳幼児等訪問事業	生後4ヶ月を迎えるまでの児の保健師・看護師・栄養士等の全戸家庭訪問を実施	子ども子育て課		844	889	1,403	－		I -2-5
5 予防接種事業	予防接種法による定期予防接種及び任意予防接種の費用助成を行っています。	子ども子育て課		87,313	83,111	92,106	継続	○	I -1-2
6 婚活支援事業	結婚を希望する独身男女を対象に各種婚活支援を行っています。	秘書総合政策課		2,427	2,783	2,250	継続		
7 妊産婦医療費助成事業	妊産婦の保険適用による医療費の自己負担額を助成しています。	子ども子育て課	○	－	2,818	4,000	重点継続	○	I -2-5
8 不妊治療費助成事業	妊娠を希望する夫婦に対して人工授精、不妊検査に要する費用を助成。県事業利用者分(体外受精等)は負担金として助成。	子ども子育て課		822	1,357	2,490	継続		I -2-5
9									
10									
合計				226,879	227,236	244,033			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況	安心して産み育てられる支援について、様々な市民のニーズに対応するため、子育て支援だけでなく、住宅・雇用・結婚・出産支援など総合的・横断的な取組みが必要であるので、限られた財源の中で、効果的な施策の展開を図るとともに、施策の周知など積極的な情報発信に取り組む必要があります。また、単年度で終わることのないような、継続的で連続性のある支援を実施していく必要もあります。	課長評価
概ね順調		重点施策であり、前期計画終了(2019年)までに強化する

＜施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）＞

進捗状況		内部評価
－		－

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

評価のコメント	外部評価
	－

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

--